

「行革甲子園 2018」エントリーシート

【取組の内容】

1 取組事例名

事務事業改善に向けた取組(平成 30 年度)

2 取組期間

平成 30 年度～

3 取組概要

- 1 給報入力作業のアウトソーシング (税務課)
- 2 ビジョンスクリーナーの導入 (健康課)

4 背景・目的

1 給報入力作業のアウトソーシング (税務課)

当町は、人口に対し税務職員数が少なく、町県民税については、単純計算でも納税義務者約 15,000 人に対し 5 人(臨時職員 1 人含む)で業務を実施しているため、職員一人当たり約 5,000 人分を処理していることとなる。

例年、1 月中旬から給報のデータ入力作業を開始し、5 人の職員が 1 月中旬から 2 月中旬の約 1 ヶ月間かけて入力作業を実施していた。

これについて、平成 30 年度から外部機関に委託することによりアウトソーシングを実施し、業務改善、経費節減を行っている。

2 ビジョンスクリーナーの導入 (健康課)

毎年実施している乳幼児健診の際、ランドルク環による視力検査を事前に自宅で実施したうえで健診にきてもらうが、適正に実施できていないケースが散見され、再検査を依頼・実施することが多かった。そこで、ビジョンスクリーナーを導入することにより事前検査が適正に実施されていなくても、健診時に瞬時に検査することが可能となり、再検査の案内送付など再検査に係る時間、費用が節減されている。

5 取組の具体的内容

- 1 給報入力作業のアウトソーシング（税務課）
給報の入力作業を外部委託することにより業務の効率化・経費節減を図る。
- 2 ビジョンスクリーナーの導入（健康課）
妊婦・乳幼児の健康診査事業において、3歳児検診を実施している。
当該検診では、ランドルク環による視力検査を事前に自宅で実施したうえで健診にきてもらうのだが、適正に実施できていないケースが散見され、再検査を依頼・実施することが多かった。そこで、ビジョンスクリーナーを導入することにより事前検査が適正に実施されていなくても、健診時に瞬時に検査することが可能となっている。

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

- 1 給報入力作業のアウトソーシング（税務課）
限られた人員・予算の中で、事務事業の効率化を図った。
- 2 ビジョンスクリーナーの導入（健康課）
限られた人員・予算の中で、事務事業の効率化を図った。

7 取組の効果・費用

- 1 給報入力作業のアウトソーシング（税務課）
税務担当職員の業務の効率化・時間外手当の縮減に繋がった。
- 2 ビジョンスクリーナーの導入（健康課）
受診者の負担の軽減、担当職員の事務作業削減に繋がった。

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

- 1 給報入力作業のアウトソーシング（税務課）
入力誤り等、ヒューマンエラーの発見が遅れる。
- 2 ビジョンスクリーナーの導入（健康課）
より効率化を進める。

9 今後の予定・構想

今後も、引き続き事務事業の効率化が可能な部分を洗い出し、適宜効率化を進めていく。

10 他団体へのアドバイス

特になし。

11 取組について記載したホームページ

特になし。